

令和6年度 廿日市市立金剛寺小学校 学校経営構想

学級数 (11) 児童数 (233)

経営理念

「子どもの夢を育む」学校
～児童・教職員・保護者・地域の協働～

児童の実態

- 異年齢が仲が良い
- 素直・心優しい
- 活動意欲・コミュニケーション能力に課題

地域の実態

- 支援・協力態勢が確立している
- 教育力が安定
- 校区が狭い
- 道路環境が悪い

学校教育目標

夢をもち
自らチャレンジする
金剛寺っ子の育成

めざす学校像

- 課題発見・解決能力を育成し、「生きる力」を育む学校
- 多様性を理解し、安心して学び、ともに高まる学校
- 家庭と連携し、信頼される学校
- 地域社会と連携・協働する学校

めざす教職員像

- 児童主体の教育活動を支援・推進することができる教職員
- 児童に寄り添い、一人一人のよさを伸ばす教職員
- 同僚とともに、自己を高めることのできる教職員
- 自らの立場・責任を自覚し、自律的に仕事にあたることのできる教職員

めざす子ども像

- 学びに挑戦する子
- よりよい生活が創り出せる子
- ルールやマナーが理解できる子

学校経営の重点目標

「互いに認め合い 学び合い 高め合う チーム金剛寺」

重点目標

- (1) 学びに挑戦する子・個別最適な学びの実現に向けて高学年で目指す姿を明らかにし、各学年・各学級で段階的に取り組む
 - ①「個別最適な学び」の推進
 - ②個別最適な学びを支える一斉指導の充実
 - ③総合的な学習の時間のグループテーマ、個人テーマの追究
 - ④連続した学校と家庭の学び
- (2) よりよい生活が創り出せる子・特別活動、縦割り活動の充実
 - ①児童会活動の充実
 - ②異学年交流の活性化—多様性の理解
- (3) ルールやマナーが理解できる子・一人一人のよさを伸ばす指導の充実
 - ①マナーやルールの理解—人と関わる中で当たり前ことは納得の上で徹底
 - ②児童に寄り添った指導、多様化への対応
- (4) 特別支援教育の視点を生かした取り組みの充実
 - ①特別支援教育の推進 特別支援教育校内委員会の組織化
 - ②個の見取り(アセスメント)と支援の最適化
- (5) 信頼される学校
 - ①教育活動を積極的に発信
 - ②コミュニティスクールの積極的な活用
- (6) 働き方改革の推進
 - ①業務改善
 - ②時間の管理 定時退校日の確実な実践
 - ③本校での働きがい改革の視点を明らかに →「風通しのいい職場」「働きがい」